

# 目次

<b>第1章 総論</b> …………… (編集：佐藤 繁) 1	(1) 牛 …………… (佐藤 繁) 29
1. 病歴の聴取 (問診) …………… (佐藤 繁) 1	(2) 馬 …………… (帆保誠二) 30
1) 飼養者 (畜主) との接し方 …………… 1	(3) 豚 …………… (新井佐知子) 31
2) 個体の経歴と識別 …………… 1	2) 治療計画, インフォームド・コンセント
3) 発病と経過 …………… 2	および予後判定 …………… 31
4) 給与飼料と飼養管理 …………… 2	(1) 牛 …………… (佐藤 繁) 31
5) 畜舎の環境 …………… 2	(2) 馬 …………… (帆保誠二) 32
2. 身体検査 (現症の把握) …………… (佐藤 繁) 2	(3) 豚 …………… (新井佐知子) 32
1) 行動観察 …………… 2	3) 輸液療法 …………… (鈴木一由) 33
2) 視診 …………… 3	4) 予防計画 …………… (佐藤 繁) 36
3) 触診 …………… 4	5) 代謝病の治療と予防 …………… (佐藤 繁) 36
4) 打診 …………… 6	6) 感染症の治療と予防 …………… (猪熊 壽) 43
5) 聴診 …………… 7	
3. 主要臨床徴候と鑑別診断 …………… (佐藤 繁) 9	<b>第2章 循環器疾患</b> …………… (編集：猪熊 壽) 51
1) 発熱 …………… 9	1. 循環器系の検査 …………… (猪熊 壽) 51
2) 食欲不振 …………… 10	1) 身体検査 …………… 51
3) 脱水 …………… 10	2) 心雑音 …………… 51
4) 貧血 …………… 10	3) 心電図 …………… 52
5) 充血, チアノーゼ …………… 11	4) 画像検査 …………… 52
6) 黄疸 …………… 11	2. 心臓疾患 …………… 53
7) 浮腫 (水腫) …………… 11	1) 先天性心疾患 …………… (猪熊 壽) 53
8) 鼻汁, 鼻出血, 咯血 …………… 12	2) 心内膜炎 …………… (北川 均) 55
9) 発咳, 呼吸困難 …………… 12	3) 心筋疾患 …………… (北川 均) 56
10) 腹囲膨大 …………… 12	4) 肺性心 …………… (大場恵典) 57
11) 下痢 …………… 13	5) 心膜炎 …………… (大場恵典) 58
12) 痙攣 …………… 14	6) 特発性心嚢血腫 …………… (猪熊 壽) 59
13) リンパ節の腫大 …………… 14	7) 腫瘍 …………… (猪熊 壽) 60
14) 跛行 (歩様異常) …………… 14	8) 不整脈 …………… (帆保誠二) 61
15) 虚弱・発育不良 …………… 15	9) 心臓弁膜症 …………… (帆保誠二) 62
4. 臨床検査 …………… (恩田 賢) 15	3. 血管疾患 …………… (帆保誠二) 63
1) 検査の意義 …………… 15	1) 牛の後大静脈血栓症 …………… (大場恵典) 63
2) 検査の種類 …………… 16	2) 血管炎 …………… (帆保誠二) 64
3) 検体の取扱い方 …………… 16	3) 動脈瘤・破裂 …………… (帆保誠二) 65
4) 検査値の読み方 …………… 18	4) 血栓塞栓症 …………… (帆保誠二) 66
5) 産業動物として特有の検査等 …………… 19	
5. 画像検査 …………… (山田一孝) 20	<b>第3章 呼吸器疾患</b> …………… (編集：加藤敏英) 68
1) X線検査 …………… (山田一孝) 20	1. 呼吸器系の検査 …………… 68
2) 超音波検査 …………… (山田一孝) 25	1) 身体検査 (聴診以外) …………… (加藤敏英) 68
3) CTとMRI検査 …………… (山田一孝) 26	2) 聴診 …………… (鈴木一由) 68
4) 内視鏡検査 …………… (帆保誠二) 27	3) 微生物検査 …………… (播谷 亮) 70
6. 基本的な治療法と予防法 …………… 29	4) 画像検査 …………… 70
1) 患畜の保定 …………… (帆保誠二) 29	(1) 胸部X線検査 …………… (鈴木一由) 70

(2) 胸部超音波検査	……………(鈴木一由) 70	(4) 直腸検査	……………(片本 宏) 97
(3) 内視鏡検査	……………(帆保誠二) 72	(5) 前腹部の疼痛検査	……………(片本 宏) 97
5) 血液ガス	……………(鈴木一由) 73	(6) 第一胃液検査	……………(片本 宏) 97
2. 呼吸器疾患の診断と治療	……………(加藤敏英) 74	(7) X線検査・CT検査	……………(柄 武志) 98
1) 上部気道の疾患	……………74	(8) 超音波検査	……………(柄 武志) 100
2) 下部気道の疾患	……………74	(9) 腹腔鏡検査	……………(磯 日出夫) 101
3. 鼻腔・副鼻腔の疾患	……………(帆保誠二) 75	2. 口腔疾患	……………102
1) ウイルス性、細菌性および真菌性感染症	……………75	1) 歯の異常	……………(樋口 徹) 102
2) アレルギー性鼻炎	……………75	2) 唾液腺疾患	……………(片本 宏) 103
3) 鼻腔閉塞性疾患	……………75	3) 口蹄疫	……………(片本 宏) 103
4) 副鼻腔炎	……………76	4) 水疱性口内炎	……………(片本 宏) 104
4. 咽頭、喉頭、気管の疾患	……………(帆保誠二) 76	5) 牛丘疹性口内炎	……………(片本 宏) 105
1) 咽頭炎および喉頭炎	……………77	6) アクチノバチルス症	……………(片本 宏) 105
2) 喉頭片麻痺	……………77	7) 放線菌症	……………(片本 宏) 106
3) 軟口蓋背方変位	……………78	8) ブルータンゲ	……………(片本 宏) 106
4) 喉頭蓋エントラップメント	……………79	9) イバラキ病	……………(片本 宏) 107
5) 咽頭虚脱	……………79	3. 食道疾患	……………(一條俊浩) 107
6) 披裂喉頭蓋襞軸側変位	……………80	1) 食道梗塞	……………107
7) 喉頭蓋下嚢胞	……………80	2) 食道破裂	……………107
8) 喉頭の腫瘍、膿瘍	……………80	3) 食道麻痺	……………108
9) 喉嚢炎	……………81	4. 前胃の疾患	……………108
10) 気管虚脱	……………81	1) 第一胃鼓脹症	……………(佐藤 繁) 108
11) 気管内異物	……………82	2) 第一胃食滞	……………(佐藤 繁) 109
5. 気管支および肺の疾患	……………83	3) 第一胃アシドーシス	……………(佐藤 繁) 110
1) 肺炎の臨床分類	……………(加藤敏英) 83	4) 第一胃錯角化症	
2) 気管支肺炎	……………(加藤敏英) 84	(第一胃パラケラトーシス)	……………(佐藤 繁) 112
3) 牛呼吸器病症候群	……………(加藤敏英) 85	5) 創傷性第二胃炎・横隔膜炎	……………(安藤貴朗) 113
4) 気管支肺炎と関連する感染性病原体	……………86	6) 第三胃食滞・拡張症	……………(安藤貴朗) 114
(1) ウイルス	……………(播谷 亮) 86	5. 第四胃疾患	……………115
(2) 細菌およびクラミジア	……………(勝田 賢) 88	1) 第四胃変位	……………(佐藤 繁) 115
(3) 寄生虫	……………(猪熊 壽) 88	2) 第四胃捻転	……………(佐藤 繁) 116
5) 急性呼吸促進症候群	……………(猪熊 壽) 89	3) 第四胃潰瘍	……………(佐藤 繁) 117
6) 過敏性肺炎	……………(猪熊 壽) 89	4) 第四胃拡張症	……………(高橋史昭) 118
7) その他の肺炎	……………(猪熊 壽) 89	5) 第四胃食滞・便秘	……………(佐藤 繁) 118
8) 肺水腫	……………(三木 涉) 90	6) 迷走神経性消化不良	……………(佐藤 繁) 119
9) 肺気腫	……………(三木 涉) 91	6. 腸疾患	……………(渡辺大作) 120
10) 胸壁と胸腔の異常	……………(猪熊 壽) 92	1) 閉塞性腸疾患：腸捻転・腸閉塞	……………(渡辺大作) 120
11) その他の異常	……………(猪熊 壽) 94	2) 出血性腸症候群	……………(前田洋佑) 121
<b>第4章 消化器疾患</b>	……………(編集：片本 宏) 96	3) 盲腸拡張症	……………(高橋史昭) 123
1. 消化器系の検査	……………96	4) 感染性腸炎(成牛)	……………(前田洋佑) 123
1) 牛の身体検査	……………96	7. 子牛・育成牛の消化器疾患	……………125
(1) 視診	……………(片本 宏) 96	1) 子牛の消化・吸収機能の特徴	……………(保田昌宏) 125
(2) 左側腹部の検査	……………(片本 宏) 96	2) 子牛の下痢症	……………(塚野健志) 128
(3) 右側腹部の検査	……………(片本 宏) 96	8. 腹膜炎	……………(安藤貴朗) 130
		1) 腹膜の特徴	……………130

2) 外傷に伴う腹腔疾患の病態生理	131	1) 急性膀胱炎	171
3) 腹膜炎	131	2) 慢性膀胱炎	172
4) その他の異常	133	3) その他の膀胱疾患	172
9. 直腸脱	(高橋史昭) 133		
10. 馬の消化器疾患	(樋口 徹) 134	<b>第6章 泌尿器疾患</b>	(編集: 渡辺大作) 173
1) 馬の消化器疾患の検査	134	1. 泌尿器系の検査	(渡辺大作) 173
2) 胃炎, 胃潰瘍	136	1) 身体検査	(渡辺大作) 173
3) 疝痛	138	2) 尿検査	(鹿野達也) 173
4) 下痢	139	3) 血液検査	(鹿野達也) 175
11. 豚の消化器疾患	(新井佐知子) 141	4) 画像検査	(高橋史昭) 175
1) 豚の身体検査	141	5) 腎生検	(高橋史昭) 175
2) 胃疾患	141	2. 腎臓の疾患	176
3) 腸疾患	141	1) 糸球体腎炎	(前田洋佑) 176
12. 羊と山羊の消化器疾患	(猪熊 壽) 145	2) 腎盂腎炎	(前田洋佑) 177
1) 寄生虫性胃腸炎	145	3) 溶血性尿毒症症候群	(前田洋佑) 178
2) コクシジウム症	146	4) 急性尿細管壊死	(前田洋佑) 178
		5) アミロイド症	(高橋英二) 179
<b>第5章 肝臓・胆道・膵外分泌疾患</b>	(編集: 恩田 賢) 147	6) レプトスピラ症	(高木光博) 180
1. 肝臓胆道系の検査	147	7) 水腎症	(高橋史昭) 181
1) 身体検査	(恩田 賢) 147	8) 嚢胞腎	(高橋史昭) 182
2) 肝機能検査	(恩田 賢) 148	9) 腎臓腫瘍	(古林与志安) 183
3) 血液検査と血液化学検査	(恩田 賢) 150	3. 尿路疾患	184
4) 画像検査	(佐藤礼一郎) 153	1) 包皮灸	(渡辺大作) 184
5) 肝組織検査	(恩田 賢) 155	2) 尿石症 (尿路閉塞, 膀胱破裂)	(渡辺大作) 184
2. 肝 炎	156	3) 膀胱反転および膀胱脱出 (逸脱)	(高橋史昭) 187
1) 肉用牛の急性肝炎	(渡辺大作) 156	4) 感染性膀胱炎	(高橋史昭) 188
2) 伝染性壊死性肝炎	(風間 啓) 156	5) 地方性血尿症	(佐藤 繁) 189
3) その他の肝炎		6) 乳頭性 (ポリープ性) 膀胱炎	(前田洋佑) 189
(植物毒素・真菌毒など)	(恩田 賢) 157		
3. 肝膿瘍 (壊死桿菌症)	(恩田 賢) 158	<b>第7章 内分泌疾患</b>	(編集・執筆: 大場恵典) 191
4. 脂肪肝	160	1. 内分泌系の検査	191
1) 乳牛の脂肪肝	(恩田 賢) 160	1) 身体検査	191
2) 馬の高脂血症	(桑野睦敏) 163	2) 血液検査と血液化学検査	191
5. 肝線維症	(佐藤礼一郎) 164	3) 内分泌機能試験	191
6. その他の肝疾患	(水谷 尚) 165	4) その他の検査	192
1) 毛細血管拡張症・巣状壊死	165	2. 牛と馬の糖尿病	192
2) うっ血肝 (ニクズク肝)	165	1) 牛の糖尿病	192
3) 肝胆道系腫瘍	166	2) 馬の糖尿病	193
4) ヘモクロマトーシス	167	3. 馬のクッシング病 (馬の下垂体中葉機能不全)	193
5) 肝疾患が薬物代謝に及ぼす影響	167	4. 甲状腺腫 (ヨード欠乏症)	195
7. 胆嚢と胆道系の疾患	168	5. 黒毛和種子牛の発育不良	196
1) 肝蛭症	(平 健介) 168		
2) 胆石症 (肝結石症)	(水谷 尚) 170	<b>第8章 栄養・代謝性疾患</b>	(編集: 山岸則夫) 197
3) 胆嚢炎・胆管炎	(水谷 尚) 171	1. 糖・脂質代謝障害	197
8. 膵臓の疾患	(水谷 尚) 171	1) ケトーシス	(恩田 賢) 197

2) 羊の妊娠中毒	(恩田 賢)	201	1) 先天性疾患	(高木光博)	241
3) 脂肪壊死症	(片本 宏)	202	2) 炎症性疾患	(柄 武志)	243
2. 主要無機元素の異常	(山岸則夫)	203	3) 感染性疾患	(堀北哲也)	244
1) 低カルシウム血症		203	4) 代謝性・中毒性疾患	(猪熊 壽)	247
2) 低マグネシウム血症		209	5) 脳腫瘍	(猪熊 壽)	249
3) 低リン血症		211	6) 変性性疾患	(猪熊 壽)	249
4) 低カリウム血症		213	3. 脊髄の疾患	(三角一浩)	250
3. ビタミン代謝性疾患	(山岸則夫)	213	1) 先天性疾患		250
1) 脂溶性ビタミンの過剰症および欠乏症		214	2) 炎症性・外傷性疾患		250
2) 水溶性ビタミンの欠乏症		219	3) 腫瘍		251
4. 金属および微量無機元素欠乏	(山岸則夫)	221	4) 変性性疾患		251
1) 鉄欠乏症		221	4. 末梢神経の疾患	(三角一浩)	253
2) セレン欠乏症		221	1) 脳神経：マイコプラズマ性中耳炎，内耳炎		253
3) 銅欠乏症		221	2) 脳神経：顔面神経麻痺		253
4) 亜鉛欠乏症		222	3) 神経筋接合部：ボツリヌス中毒		254
5) ヨウ素欠乏症		222	4) 神経筋接合部：破傷風		254
6) コバルト欠乏症		222	5) 四肢末梢神経：痙攣性不全麻痺（痙攣肢症候群）		255
7) マンガン欠乏症		223	6) その他の末梢神経異常		256
<b>第9章 運動器疾患</b>	(編集：帆保誠二)	224	<b>第11章 血液・造血臓器疾患</b>	(編集：稲葉 睦)	257
1. 運動器系の検査	(帆保誠二)	224	1. 血液系の検査	(稲葉 睦)	257
1) 骨格筋・腱の検査		224	1) 赤血球		257
2) 骨関節系の検査		225	2) 白血球		259
3) 蹄の検査		226	3) 血小板		261
2. 骨格筋・腱疾患	(帆保誠二)	227	4) 血液凝固系の異常		262
1) 骨格筋損傷		227	2. 赤血球の疾患		263
2) 筋緊張症		227	1) 貧血	(稲葉 睦)	263
3) ミオパチー		228	2) 赤血球増加症（多血症）	(富張瑞樹)	270
4) 腱疾患		230	3. 止血異常	(富張瑞樹)	271
3. 骨関節疾患	(三角一浩)	231	1) 血小板の異常		272
1) くる病		231	2) 血液凝固系の異常		274
2) 感染性関節炎		231	4. 白血球の疾患	(富張瑞樹)	276
3) 変形性関節症		231	1) 先天性機能異常		276
4. 蹄疾患		233	2) 二次性機能異常		276
1) 馬の蹄葉炎	(桑野睦敏)	233	5. 血液の感染症		277
2) 牛の蹄葉炎	(岡田啓司)	235	1) 牛伝染性リンパ腫	(今内 覚)	277
3) 趾の感染症	(岡田啓司)	235	2) ヘモプラズマ症	(猪熊 壽)	278
4) 蹄底潰瘍	(岡田啓司)	237	3) アナプラズマ症	(猪熊 壽)	279
<b>第10章 神経疾患</b>	(編集：猪熊 壽)	238	4) 牛のタイレリア症	(猪熊 壽)	280
1. 神経系の検査		238	5) 牛のバベシア症	(猪熊 壽)	282
1) 神経徴候と身体検査	(猪熊 壽)	238	6) 馬伝染性貧血	(迫田義博)	283
2) 脳脊髄液	(猪熊 壽)	240	7) 馬のピロプラズマ症	(横山直明)	284
3) 画像検査	(山田一孝)	240	8) 馬のトリパノソーマ症	(横山直明)	285
2. 脳の疾患		241	6. 血液の腫瘍	(猪熊 壽)	287
			1) リンパ腫/白血病		287

<b>第12章 皮膚疾患</b> …………… (編集：田島誉士) 288	2) 乳頭の状態 …………… 309
1. 皮膚病の検査 …………… (田島誉士) 288	3) エネルギーバランスと栄養 …………… 309
1) 身体検査 …………… 288	4) 遺 伝 …………… 310
2) 臨床病理検査 …………… 289	5) ストレス …………… 310
2. 非感染性皮膚炎 …………… (田島誉士) 290	6) 宿主の免疫応答 …………… 310
1) 蕁麻疹 …………… 290	5. 二等乳(アルコール不安定乳) …… (菊 佳男) 310
2) 接触性皮膚炎 …………… 290	
3) 光線過敏症 …………… 291	<b>第14章 感染症</b> …………… (編集：堀北哲也) 312
3. 感染性皮膚炎 …………… (高橋俊彦) 291	1. 検査と診断 …………… (猪熊 壽) 312
1) 細菌性皮膚炎 …………… 291	1) 感染症を疑う症例のアプローチ
2) 皮膚糸状菌症 …………… 292	— 感染症としての鑑別診断手順 …………… 312
3) 寄生虫性皮膚疾患 …………… 294	2) 病原検査の方法 …………… 313
4. 腫 瘍 …………… (田島誉士) 295	3) 検査材料の取扱い …………… 314
1) 乳頭腫(パピローマ) …………… 295	2. 日和見感染症 …………… (堀北哲也) 314
2) 黒色腫(メラノーマ) …………… 295	1) 日和見感染をまねく要因 …………… 315
3) リンパ腫 …………… 296	2) 日和見感染の特徴 …………… 315
	3) 日和見感染症の対策 …………… 315
<b>第13章 牛の乳房炎</b> …………… (編集：河合一洋) 297	4) 日和見感染症の具体例 …………… 315
1. 乳房炎の検査 …………… 297	3. 牛の感染症 …………… (堀北哲也) 315
1) 身体検査 …………… (篠塚康典) 297	1) ウイルス性疾患 …………… 315
2) 乳汁の検査 …………… (菊 佳男) 297	2) 細菌性疾患 …………… 317
3) 病原体の検出 …………… (樋口豪紀) 298	4. 馬の感染症 …………… 320
2. 乳房炎の種類 …………… 300	1) ウイルス性疾患 …………… 320
1) 臨床学的分類 …………… (樋口豪紀) 300	(1) 流行性脳炎 …………… (辻村行司) 320
2) 病原体別分類 …………… 300	(2) 馬鼻肺炎 …………… (辻村行司) 321
(1) <i>Streptococcus agalactiae</i> による	(3) 馬インフルエンザ …………… (根本 学) 321
乳房炎 …………… (河合一洋) 300	(4) 馬ロタウイルス感染症 …………… (根本 学) 322
(2) <i>Staphylococcus aureus</i> による	(5) 馬ウイルス性動脈炎 …………… (坂内 天) 322
乳房炎 …………… (林 智人) 301	(6) ゲタウイルス感染症 …………… (坂内 天) 323
(3) <i>Mycoplasma</i> による乳房炎 …… (河合一洋) 302	2) 細菌性疾患 …………… 323
(4) グラム陽性桿菌による乳房炎 …… (河合一洋) 303	(1) 鼻 疽 …………… (木下優太) 323
(5) 環境性レンサ球菌による乳房炎 …… (河合一洋) 303	(2) 類鼻疽 …………… (木下優太) 324
(6) 大腸菌群(coliform)による	(3) 馬パラチフス …………… (丹羽秀和) 324
乳房炎 …………… (篠塚康典) 304	(4) ロドコッカス・エクイ感染症 …… (丹羽秀和) 324
(7) 環境性ブドウ球菌(CNS)による	(5) 腺 疫 …………… (丹羽秀和) 325
乳房炎 …………… (河合一洋) 306	(6) <i>Streptococcus zooepidemicus</i>
(8) 藻類による乳房炎 …………… (加納 塁) 306	感染症 …………… (丹羽秀和) 325
(9) 酵母による乳房炎 …………… (河合一洋) 307	(7) <i>Clostridioides difficile</i>
(10) その他の病原体による乳房炎 …… (河合一洋) 307	感染症 …………… (丹羽秀和) 325
3. 乳房炎の治療 …………… (河合一洋) 308	(8) ローソニア・イントラセルラリス
1) 抗菌薬使用の考え方と治療効果の評価 …… 308	感染症 …………… (丹羽秀和) 326
2) 抗菌薬の適正使用と慎重使用に則した治療 …… 308	5. 豚の感染症 …………… (笹井和美) 326
4. 乳房炎の予防 …………… (林 智人) 309	1) ウイルス性疾患 …………… 326
1) 乳房炎による経済損失 …………… 309	2) 細菌性疾患 …………… 329
	3) 寄生虫性疾患 …………… 331

6. 羊・山羊の感染症 …………… (住吉俊亮) 331	<b>第16章 新生子の管理と疾患</b> …… (編集:大塚浩通) 355
1) ウイルス性疾患 …………… 331	1. 新生子の検査 …………… (松田敬一) 355
2) 細菌性疾患 …………… 333	1) 問診 …………… 355
3) その他 …………… 334	2) 身体検査 …………… 355
<b>第15章 中毒</b> …………… (編集:山中典子) 336	3) 血液検査 …………… 358
1. 中毒の特性 …………… (山中典子) 336	2. 新生子の管理 …………… (大塚浩通) 359
2. 中毒の診断 …………… (山中典子) 336	1) 栄養管理 …………… 359
3. 中毒の治療 …………… (山中典子) 337	2) 衛生管理 …………… 360
4. 有毒植物による中毒 …………… (山中典子) 337	3) 疾病管理 …………… 361
1) ツツジ科植物による中毒 …………… 337	3. 周生期疾患 …………… (安藤貴朗) 362
2) 強心配糖体を含む植物による中毒 …………… 338	1) 胎子期の障害 …………… (安藤貴朗) 362
3) アブラナ科植物による中毒 …………… 338	2) 出生時の障害 …………… (安藤貴朗) 365
4) オナモミによる中毒 …………… 339	3) 出生後の疾患 …………… (安藤貴朗) 367
5) ユズリハによる中毒 …………… 340	4) 新生子虚弱症候群 …………… (大塚浩通) 368
6) ワラビによる中毒 …………… 341	<b>第17章 遺伝性疾患</b> …………… (編集:稲葉 睦) 370
7) シキミによる中毒 …………… 341	1. 遺伝性疾患の概説 …………… (稲葉 睦) 370
8) ドングリによる中毒 …………… 342	1) 診断 …………… 370
9) 光線過敏症 …………… 343	2) 治療と予防 …………… 370
10) 青酸中毒 …………… 343	2. 血液・免疫系の異常 …………… (稲葉 睦) 373
11) シュウ酸による中毒 …………… 344	1) バンド3欠損症(遺伝性球状赤血球症) …………… 373
12) その他注意を要する植物 …………… 344	2) 先天性ポルフィリン症 …………… 375
5. 飼料の状態によって起こる中毒 …………… 344	3) 牛白血球粘着不全症 …………… 375
1) 硝酸塩中毒 …………… (吉岡 都) 344	4) 止血異常 …………… 375
2) ジクマロールによる中毒 …………… (山中典子) 346	5) チェディアック・東症候群 …………… 377
3) 一年生ライグラス中毒 …………… (吉岡 都) 346	6) IARS 異常症 …………… 378
4) 傷害サツマイモ中毒 …………… (山中典子) 346	7) 重症複合免疫不全症(馬) …………… 378
5) 特殊な飼料による中毒 …………… (山中典子) 347	8) 子馬免疫不全症候群(馬) …………… 379
6. カビ毒による中毒 …………… (山中典子) 347	3. 代謝・内分泌の異常 …………… (猪熊 壽) 379
1) アフラトキシン中毒 …………… 347	1) 先天性ポルフィリン症 …………… 379
2) トリコテセンによる中毒 …………… 349	2) キサンチン尿症Ⅱ型 (モリブデン補酵素欠損症)(牛) …………… 379
3) ゼアラレノンによる中毒 …………… 349	3) ウリジル酸合成酵素欠損症(牛) …………… 381
4) フモニシンによる中毒 …………… 349	4) 蓄積病 …………… 381
5) エンドファイト中毒 …………… 350	5) 脂肪壊死症 …………… 382
7. 農薬等の化学物質・重金属による中毒 …………… 351	6) 子牛の発育不良 …………… 382
1) 有機リン剤, カーバメイト剤中毒 …… (山中典子) 351	7) コレステロール代謝異常症 …………… 383
2) クマリン系殺鼠剤中毒 …………… (山中典子) 351	4. 臓器・組織の構造・機能異常 …………… 384
3) クロロピクリン中毒 …………… (山中典子) 351	1) 拡張型心筋症(牛) …………… (猪熊 壽) 384
4) 残留性有機汚染物質による中毒 …… (山中典子) 351	2) 横隔膜筋症(牛) …………… (猪熊 壽) 384
5) 食塩中毒 …………… (吉岡 都) 352	3) 牛の前肢帯筋異常症(三枚肩) …… (渡辺大作) 385
6) 鉛中毒 …………… (吉岡 都) 352	4) 尿細管異形成 (クローディン16欠損症) …… (渡辺大作) 386
7) 銅中毒 …………… (吉岡 都) 352	5) 下顎短小・腎形成不全 …………… (渡辺大作) 387
8) その他注意を要する化学物質 および重金属 …………… (山中典子) 354	6) 複合脊椎形成不全症 …………… (渡辺大作) 387

7) ブラキスパイクナ	(渡辺大作)	388	3. 肉牛の生産獣医療	397
8) 軟骨異形成性矮小体軀症	(渡辺大作)	388	1) 繁殖和牛	(岡田啓司) 397
9) 眼球形成異常	(渡辺大作)	388	2) 肥育牛	(渡辺大作) 400
10) 結合組織・皮膚の異常	(富張瑞樹)	389	4. 豚の生産獣医療	(堀北哲也) 403
11) 単蹄・肢端の異常	(富張瑞樹)	390	1) 生産獣医療の枠組み	403
12) バーター症候群 1 型 (尿膜水腫)	(富張瑞樹)	390	2) 生産獣医療の手順	404
13) 高カリウム血症性周期性麻痺	(富張瑞樹)	391	3) 生産獣医療に関わる事項	404
14) 致死性白色子馬症候群	(富張瑞樹)	391		
15) 悪性高熱症	(富張瑞樹)	392	付表 1 薬物と用量	(堀 正敏) 406
<b>第 18 章 生産獣医療システム</b>	(編集: 岡田啓司)	393	付表 2 臨床検査項目の基準範囲	(佐藤 繁) 422
1. 生産獣医療の概念	(岡田啓司)	393	略 語	429
2. 乳牛の生産獣医療		393	索 引	437
1) 飼養管理法の評価と改善	(木田克弥)	393		
2) 代謝プロファイルテストを用いた 牛群検診	(岡田啓司)	394		